

平成 14 年 予算審査特別委員会

予算審査特別委員会日程（第 2 日）

平成 14 年 3 月 11 日（月）

午前 10 時 議 場

1 議案の審査（第 2 日）

- (1) 議案第 34 号 平成 14 年度川崎市一般会計予算
- (2) 議案第 35 号 平成 14 年度川崎市競輪事業特別会計予算
- (3) 議案第 36 号 平成 14 年度川崎市中央卸売市場事業特別会計予算
- (4) 議案第 37 号 平成 14 年度川崎市マイコンシティ事業特別会計予算
- (5) 議案第 38 号 平成 14 年度川崎市国民健康保険事業特別会計予算
- (6) 議案第 39 号 平成 14 年度川崎市交通災害共済事業特別会計予算
- (7) 議案第 40 号 平成 14 年度川崎市母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算
- (8) 議案第 41 号 平成 14 年度川崎市老人保健医療事業特別会計予算
- (9) 議案第 42 号 平成 14 年度川崎市公害健康被害補償事業特別会計予算
- (10) 議案第 43 号 平成 14 年度川崎市介護老人保健施設事業特別会計予算
- (11) 議案第 44 号 平成 14 年度川崎市介護保険事業特別会計予算
- (12) 議案第 45 号 平成 14 年度川崎市港湾整備事業特別会計予算
- (13) 議案第 46 号 平成 14 年度川崎市勤労者福祉共済事業特別会計予算
- (14) 議案第 47 号 平成 14 年度川崎市墓地整備事業特別会計予算
- (15) 議案第 48 号 平成 14 年度川崎市生田緑地ゴルフ場事業特別会計予算
- (16) 議案第 49 号 平成 14 年度川崎市公共用地先行取得等事業特別会計予算
- (17) 議案第 50 号 平成 14 年度川崎市公債管理特別会計予算
- (18) 議案第 51 号 平成 14 年度川崎市病院事業会計予算
- (19) 議案第 52 号 平成 14 年度川崎市下水道事業会計予算
- (20) 議案第 53 号 平成 14 年度川崎市水道事業会計予算
- (21) 議案第 54 号 平成 14 年度川崎市工業用水道事業会計予算
- (22) 議案第 55 号 平成 14 年度川崎市自動車運送事業会計予算
- (23) 議案第 56 号 平成 14 年度川崎市高速鉄道事業会計予算

出席委員（63 名）

佐野仁昭

笠原勝利

水科宗一郎

ますが、いよいよ409から多摩川方面に向かって整備が進められるのかというふうに思います
が、ここらの取り組みについても伺いたいと思います。以上です。

◎鳥海勝男 建設局長 多摩川にかかる新橋についての御質問でございますが、都市計画道路
宮内新横浜線は、東京都と横浜市との連携強化を図る都市軸を形成する道路であり、さら
には、災害時における緊急活動道路として重要な道路と考えております。したがいまし
て、東京都と当該道路とを結ぶ新橋の整備は必要であると認識しているところでござい
ます。

本事業を実施するためには、まず都市計画での位置づけが必要でございます。現在、事業
中の宮内新横浜線の又玄寺交差点から国道409号までの区間は、平成16年度の完成を予
定しております。その進捗状況を踏まえまして、新橋についての都市計画決定の手続は、
既存計画における国道409号から多摩沿線道路までの区間の都市計画変更と合わせて、
今後3年から4年を目途に、関係機関と調整を図り、進めてまいりたいと考えており
ます。

しかしながら、整備に当たりましては、現在の都市計画決定がなされている道路沿道住
民の方々の御理解と御協力が不可欠であると考えております。また、橋梁整備には、
莫大な事業費が必要となりますので、財源の確保などにつきましても検討する必要があ
るかと考えております。以上でございます。

◆原修一 委員 よくわかりました。3年から4年を目途に、都市計画決定に向けて進め
てまいりたいという御答弁でした。3年から4年というと、平成16年、宮内新横浜線
が409まで整備が終わって、いよいよそこからスタートするのかというふうに思いま
す。平成16、17年には都市計画決定を目指していくと、こういう理解でいいのか、
再度確認をさせていただきます。

◎鳥海勝男 建設局長 今後、3年から4年を目途に、関係機関と調整を図ってまい
りたいと思います。以上でございます。

◆原修一 委員 わかりました。ただ局長、頭から財源が厳しいということではなか
なか進まないと思います。稲城大橋だとか、いろいろな整備手法もありますし、特に
今、国の方も都市再生部会もありますし、また、道路も広域幹線網という視点から
すれば、ぜひひとつ、県とも調整しながら、ぜひ、実現に向かって努力をしていただ
きたいと思います。特に、これから宮内の方に都市計画道路が入っていく、当然、
その幅員の変更もあろうかと思しますので、ぜひひとつ丁寧な対応をよろしくお願
いしたいと思います。結構です。

次に、教育長、川崎市ふれあい館に開催されております人権尊重学級について伺いま
す。この会の主催者が教育委員会となっております。この事業の内容、補助額、ど
のような経過で主催者になったのか、その経過を伺います。

◎松下充孝 教育長 川崎市ふれあい館人権尊重学級についての御質問でございま
すが、初めに、川崎市ふれあい館人権尊重学級につきましては、昭和61年度に制定
された「川崎市在日外国人教育基本方針～主として在日韓国・朝鮮人教育～」に基
づきまして、ふれあい館開設当初

より、民族差別の克服、日本人と外国人の共生による地域社会づくりを目指して、社会福祉法人青丘社に委託し、開設しております。今年度はワールドカップサッカー日韓共同開催の年に際しまして、日本と韓国の友好と理解を深めるために、多面的に課題を取り上げた10回に及ぶ継続学習の講座となりました。現在、70名ほどの方々に御参加をいただいております。3月1日発行の市政だより「私のひとこと」欄には参加者の声が掲載されるなど、好評のうちに進められております。

次に、委託事業の実施につきましては、仕様書によって、学級運営方法や企画への市民参加等の開設条件を定めております。学級・講座の具体的な企画、立案に関しては、委託先をお願いしておりますが、求めに応じて相談を受け、協議しております。教育委員会といたしましては、今後、受託者とより十分な協議をしてまいりたいと考えております。

次に、平成13年度のふれあい館人権尊重学級の予算は15万7,000円となっております。以上でございます。

◆原修一 委員 内容はよくわかりました。非常に好評だということも伺っております。この事業は教育委員会が主催者だということなんですけれども、実質的に教育委員会としては、この中身といいますか、こういう事業について指導、助言ができるような環境にあるのかどうか、お伺いしたいと思います。

あわせて伺いたいんですけれども、この人権尊重学級の案内状を私も見させていただいたんです。ちょっと読ませていただきますと、『もっと、おもしろいコリア ～ヒト、モノ、カネの交流からみる』『「近くて近い」未来を感じたおり、昨年、歴史の針を巻き戻すかのごとく、真実の歴史を見つめない「新しい歴史教科書」が文部省検定制度に合格した。そして、日本のアジアについての「歴史認識」「教科書問題」が大問題となった。また、国際化が標榜される昨今、定住外国人の地方参政権法案が通るかにみえたが、根強い排外主義の台頭の前に頓挫している。』

教育委員会の主催の案内文書がこういうふうに出ておりました。教育長、この点についてひとつ見解を伺いたいと思いますし、教育委員会として、国の教科書の採択のあり方、また、定住外国人の地方参政権についての見解がありましたら、あわせて伺います。

◎松下充孝 教育長 川崎市ふれあい館人権尊重学級についての御質問でございますが、初めに、教育委員会として委託事業への指導、助言についてのかかわり方についてでございますが、基本的には年度ごとに川崎市ふれあい館社会教育事業委託仕様書というものを取り交わしまして、その目的、そして企画あるいは学習の進め方等、内容等につきまして担当者と十分に打ち合わせをしまして、実施をしているところでございます。

次に、教科書検定制度に関することでございますが、教科書検定制度は、教育水準の向上や教育の適正な内容、中立性などを確保するために設けられた大変重要な制度と受けとめているところでございます。

次に、定住外国人の地方参政権につきましては、川崎市では御承知のように、外国人市民代表者会議を設置し、外国人市民の皆様の御意見を伺ってきたところでございます。参政権につきましては、国の動向を見守っていきたいと考えております。

次に、学級の開設に当たりまして、講座案内のチラシの中に、一部不適切な表記がありましたことにつきましては、今後、訂正をさせていただき、そのようなことがないように努めてまいりたいと存じます。以上でございます。

◆原修一 委員 よくわかりました。教育長、ただ、このチラシというのは、やはり教育委員会の主催で、まさに各出先機関に配布されて、ほとんどの方が見ているんですよ。また、あわせて、こうした文書というのは公文書としてずっと将来長く残るわけですよ。今、不適切な表現がありまして訂正をさせていただくということでございましたが、具体的にどういうふうに訂正をしていくのか、再度伺いたいと思います。

◎松下充孝 教育長 講座案内のチラシの訂正についての御質問でございますが、講座案内につきましては、530部ほどチラシが配られまして、現在10講座のうち8講座まで進んでおりまして、あと2講座ほど残っております。この講座終了後につきまして、担当者との十分な反省を持ちたいというふうに思います。あわせて、その講座の開催に当たりましての会場等に、この不適切な表現について訂正文を掲示して対応してまいりたいと、このように考えております。以上でございます。

◆原修一 委員 ぜひひとつ、そのような対応をお願いしておきます。確かに、いろいろ難しい問題もありますし、特に教育委員会の立場ということも十分にわきまえながら、ぜひひとつ、二度とこういうことがないようによろしくお願いを申し上げたいと思います。

最後は、9款まちづくり費3項6目都心地区整備事業費の中に、その他の事業として1,538万円が計上されておりますが、まず最初にその内訳を伺います。

◎福地由矩 まちづくり局長 都心地区整備事業費の内訳についての御質問でございますが、平成14年度予算に計上されております都心地区整備事業1,538万円の内訳でございますが、羽田空港アクセス推進事業費が900万円、新川崎管理費が625万2,000円及び当番市費が12万8,000円となっております。以上でございます。

◆原修一 委員 その中に、羽田アクセス事業費900万円ということでございますが、さらに目的、内容、拠出する根拠、東京都へ出す根拠について詳細に伺います。以上です。

◎福地由矩 まちづくり局長 羽田空港アクセス推進事業についての御質問でございますが、初めに、目的等でございますが、現在、東京都で実施しております京急蒲田駅周辺での京浜急行連続立体交差事業にあわせまして、京急空港線へのアクセスを改良する京急蒲田駅総合改善事業が進められており、京急蒲田駅から京急空港線に乗りかえ、羽田空港を利用する方々の利